

平成29年度 第2回安城市特別職報酬等審議会議事要旨

日 時 平成29年11月21日（火）

午前10時30分から午前11時45分まで

場 所 安城市役所 第10会議室

出席者 （委員） 全員出席

（事務局）企画部長、総務部長、人事課長、人事係長

<市民憲章の唱和>

1 会長あいさつ

2 議事

（1）特別職の報酬等について

【事務局より資料説明】

会長 事務局から、先の審議会においてご質問ご意見のあったことに対しての要点の整理、過去の審議会における答申と結論に至った背景、今回の審議会における判断要素と判断の例について、事務局から説明がありました。ご意見はございますでしょうか。

委員 市長や副市長のご苦勞は大変なことだと思っていますので、今の安城市の財政を考えると、人口も増えていることもあり、引き上げについては問題がないと思います。質問ですが、過去の答申を見ると特別職と議員について同じ答申をされていることが多いようですが、別なものとして考えてよろしいでしょうか。

会長 別々で結構です。

委員 民間の場合ですと、人件費比率という点も見ながら給与改定を行っていくわけですが、今回報酬を引き上げた場合に、人件費の比率がどうなるのか、参考までにお聞きしたい。

事務局 確認でき次第、後ほど回答させていただきます。

会長 安倍首相もインフレに持っていきたいということで頑張っている、この地元のトヨタ関連の企業も含めて、上場企業の50%以上が増収増益という状況でございます。安城市の財政も少し上向きではないかと思いますが、その辺を踏まえて、他市との比較等を加味して結論が出ればい

いかと思います。

委員 資料の中で、西三河 9 市のうち今年度は開催しない市が多いのですが、開催しない理由がもし分かれば教えていただきたい。

事務局 こちらも確認でき次第、回答させていただきます。

委員 経済状況からすれば、私どもの地域も含めて、全体的に上向いている状況もありますので、報酬については、引き上げてもいいのかなと思います。質問ですが、副市長の人数について、元は 2 人体制でされていたところを、現在は 1 人体制でされているかと思いますが、それによる市長・副市長への負担の影響はいかがでしょうか。

事務局 やはり 2 人から 1 人になったことで、当然会議等の内部調整の機会も増えることになりますので、事務上の負担が増えていることは明らかだと思います。

会長 1 人がまた 2 人になることはありえますか？

事務局 今のところお願いしている状況にあるようですが、返事をいただけていないということを、前回の議会の時に答弁したところです。前提としてやはり 2 人体制を考えているかと思います。

委員 資料を見ますと、県下 37 市における比較、県下人口同規模の 10 市における比較では、平均額を上回っている。県下人口同規模で財政力指数が良好な 4 市における比較では、平均額を下回っている。安城市は財政が非常に豊かであるという話も出ておりますので、財政力指数が良好な 4 市における比較の中で、下回るよりも上回る方がいいのかなと思っています。

委員 財政力が良好で似た市が近くにあるということで、やはり合わせていくことが大切だと思います。ただし、議員については、1 人当たりの議員が抱える人口が多いことは理解できましたが、活動については思うところがありますので、特別職と一律に引き上げることはどうなのかという思いはありますけども、全体としては引き上げでよいかと思います。

委員 引き上げの方向でよいかと思います。財政力が良好な 3 市より下回っていることは、やはり重要な判断要素になると考えます。

委員 判断の例として、(A) 据え置き・(B) 0.34% 引き上げ・(C) 0.68% 引き上げ・(D) 3 市平均額との差額分を引き上げの 4 つがありますが、特別職については他の 3 市の平均より年間収入は全て

上回っている中で、市議会議員については下回っているのに、少なくとも0.68%は上げていただいて、この3市との差額を解消していただけたらいいかなと思います。

会長 ご意見ありがとうございました。ここで、特別職と市議会議員について、それぞれA B C Dで票決を採りたいと思います。その前に、据え置きはないかなという意見が多く出ていますが、据え置きはなしで進めてよろしいでしょうか。また、A B C D以外に、こういう数字がよいのではないかなということがありましたらご発言願います。

委員 <意見なし>

会長 それでは、票決を採りたいと思います。

<票 決>

【市議会議員】

C：0.68%引き上げ 5名

D：県下人口同規模で財政力指数が良好な県内3市平均との差額分を引き上げ 4名

【市長・副市長・教育長】

B：0.34%引き上げ 1名

C：0.68%引き上げ 8名

会長 ありがとうございます。議員、特別職について、Cの0.68%引き上げで採決となりました。この数字で事務局の方でまとめていただくということでお願いいたします。

事務局 社会情勢や近隣の動向も十分吟味いただいた上で結論を出していただき、ありがとうございました。Cの金額については、1,000円単位でまらめて金額を設定しますと、改定率は若干異なりますのでご承知おきいただきたいと思います。また、今回いただいた結論に基づいて、答申案の作成を進めてまいります。具体的な形にした資料をお送りさせていただいて、ご意見があれば伺ってまいりますのでよろしくお願い致します。それから、先ほど審議の中で保留しておりました質問について回答させていただきます。

2点回答させていただきます。まず、近隣9市で審議会を開催しない理由は何かとのご質問ですが、直接確認はできておりませんが、前年度に開催したのは刈谷、豊田、西尾、知立等々でございます。中には毎年開催するという市もあるので100%ではないですが、前年度に答申を出しているので、今年はしないという安城の隔年みたいな考え方でされているかと推察されます。

税収に対する人件費の割合については、大きく影響はないかと思われ
ます。今年の人勧の影響を試算したところ、割合としては21.6%から0.2%増加しましたが、これは職員全体での増加率ですので、特別職のみの場合で考えるとそれほど変わらないということです。以上です。

長時間にわたり、ご審議をいただきまして本当にありがとうございました。先ほど会長からもありましたように、次回、答申をいただくということで、日程としては12月21日木曜日午後4時から開催とさせていただきますので、よろしくお願いいたします。それでは、これをもちまして閉会とさせていただきます。本日はお忙しい中、どうもありがとうございました。